

参考文献

1. 安達知子.(2022).日本婦人科医会 産婦人科ゼミナール 安達知子 先生 の 女 性 ヘ ル ス ケ ア 講座.<https://www.jaog.or.jp/learning/open/>. (検索日 2022 年 12 月 20 日)
2. Chisako Mizuno, Asako Fuchigami.(2020).女子大学生の月経観に関する質的研究
3. 福馬 昌未, 岡島 茅亜実, 河村 沙弥香, 菊地 美由紀, 坂井 桃子, 島 遥香, 由比 美帆, 小笹 幸子.(2019).女子中高校生が受けた初経教育の実態. 大阪母性衛生学会雑誌(0285-3655)55 巻 1 号 Page18-25(2019.06)
4. 日野林俊彦.(2013).思春期における発達加速現象の研究 : 性成熟における心理・社会環境的要因の分析を中心に .https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/all/37815/09795_%E8%A6%81%E6%97%A8.pdf. (検索日 2022 年 12 月 20 日)
5. 妹尾未妃,上村茂仁.(2021).我が国の性教育における月経教育に関する文献レビュー.https://mol.medicalonline.jp/library/journal/download?GoodsID=cu2mater/2021/006202/024&name=0478-0485j&UserID=1100006523-AA&base=jamas_pdf. (検索日 2022 年 12 月 20 日)
6. 伊藤 ゆき, 小畑 茜, 高野 舞衣, 浜口 由起子, 中野 正博, 村上 由紀.(2009).助産学生の月経に対する認識と重要視する初経教育の内容と関連性.https://www.jstage.jst.go.jp/article/jbfsa/11/2/11_KJ0005755088/_pdf/-char/ja. (検索日 2022 年 12 月 20 日)
7. 泉澤真紀,山本八千代,宮城由美子.(2008).思春期生徒の月経痛と月経に関する知識の実態と教育的課題 .https://mol.medicalonline.jp/library/journal/download?GoodsID=cu2mater/2008/004902/014&name=0347-0356j&UserID=58.5.157.20&base=jamas_pdf. (検索日 2022 年 12 月 20 日)
8. JICA.(n.d.). リ プ ロ ダ ク テ ィ ブ ヘ ル ス の 概況 .https://www.jica.go.jp/jica-ri/IFIC_and_JBICI-Studies/jica-ri/publication/archives/jica/field/pdf/200408_02_01.pdf. (検索日 2022 年 12 月 20 日)
9. 甲斐村美智子.(2010).女子学生の月経の経験と自己肯定感初経

教育およびその後の月経の経験と自己肯定感との関連.
https://doi.org/10.18977/jspog.14.3_277

10. 厚生労働省.(2020).「健やか親子21(第2次)」の中間評価等に関する検討会報告書.<https://www.mhlw.go.jp/content/11901000/000614300.pdf>. (検索日 2022 年 12 月 20 日)
11. 厚生労働省.(2022).「『生理の貧困』が女性の心身の健康等に及ぼす影響に関する調査」結果概要.<https://www.mhlw.go.jp/content/000919897.pdf>. (検索日 2023 年 1 月 6 日)
12. 厚生労働省子ども家庭局.(2020).令和2年の人工妊娠中絶数の現状について.https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_18838.html. (2022 年 11 月 23 日)
13. 道園亜紀, 佐藤佳代, 石村美由紀.(2017).小学校教諭が行う性教育の体験助産師との連携を目指して.https://mol.medicalonline.jp/library/journal/download?GoodsID=cu2mater/2017/005802/018&name=0412-0419j&UserID=1100006523-AA&base=jamass_pdf. (検索日 2022 年 12 月 20 日)
14. 宮崎仁美, 加城貴美子, 塚本博之.(2020)女子大学生の受けてきた月経教育とそれに対する要望～とくに月経随伴症状に関して～.https://mol.medicalonline.jp/library/journal/download?GoodsID=cu2mater/2020/006004/009&name=0569-0576j&UserID=58.5.157.23&base=jamass_pdf. (検索日 2022 年 12 月 20 日)
15. 文部科学省ホームページ.(2017).学習指導要領「生きる力」,平成29・30年度改訂学習指導要領周知・広報ツール.http://www.mext.go.jp/a_menu/01_c.htm. (検索日 2022 年 12 月 20 日)
16. 文部科学省ホームページ.(2018).学校における性に関する指導について.<https://www.mhlw.go.jp/content/11121000/000838180.pdf>. (検索日 2023 年 1 月 6 日)
17. 長津恵, 長鶴美佐子 (2018): 月経ヘルスケアプログラムがもたらす高校生の「月経に対する認識と月経の経験」の変容プロセス, 母性衛生, 578-586. (検索日 2022 年 12 月 20 日)
18. 内閣府男女共同参画局.(2022).1.生理の貧困 地方公共団体の取り組み

- み. <https://www.gender.go.jp/policy/sokushin/kenko/periodpoverty/index.html>. (検索日 2023 年 1 月 6 日)
19. 日本 who 協会. (2022). セルフケア. https://japan-who.or.jp/factsheets/factsheets_type/self-care-health-interventions/. (検索日 2022 年 7 月 25 日)
20. 新村出編. (2018). 広辞苑 20894P. 岩波書店
21. 佐藤幸保. (2021). 今日の臨床サポート 月経不順. <https://clinicalsup.jp/jpoc/contentpage.aspx?diseaseid=1704>. (検索日 2023 年 2 月 27 日)
22. 坂木 奈都美, 笹野 京子, 長谷川 ともみ. (2019). 小学校, 中学校, 高等学校における月経教育の内容への要望 : 看護学生を対象にした質問紙調査. https://mol.medicalonline.jp/library/journal/download?GoodsID=cu2mater/2019/005904/003&name=0655-0661j&UserID=58.5.157.20&base=jamas_pdf. (検索日 2022 年 12 月 20 日)
23. 坂木 奈都美, 笹野 京子, 長谷川 ともみ. (2019). 小学校, 中学校, 高等学校における月経教育の内容への要望 : 看護学生を対象にした質問紙調査. https://mol.medicalonline.jp/library/journal/download?GoodsID=cu2mater/2019/005904/003&name=0655-0661j&UserID=58.5.157.20&base=jamas_pdf. (検索日 2022 年 12 月 20 日)
24. 総務省 HP. (2021). 令和 4 年情報通信に関する現状報告の概要. <https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r04/html/nb000000.html>. (検索日 2022 年 12 月 20 日)
25. 諏訪部晴美, 香川香. (2017). 女子大学生の月経観に関する質的研究. <file:///C:/Users/Yuko/Downloads/KU-1100-20170318-02.pdf> (検索日 2022 年 12 月 20 日)
26. 東京都教育委員会. (2019). 性教育の手引き. https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/school/content/files/about/text_kiso.pdf. (検索日 2022 年 12 月 20 日)
27. ユネスコ. (2018). 国際セクシャリティ教育ガイダンス. <https://unesdoc.unesco.org/ark:/48223/pf0000374167?fbclid=IwAR3M2Rdlc0G1EjLfYDUgo5UyexVF9oMavcZDDtpYoGsauNXmYm12yG8w-B8>. (検索日 2022 年 12 月 20 日)